

[参考資料・リリース日本語訳]

2002年5月10日

ノバルティス社が発表しました、米国でのバイオメディカル・リサーチセンター設立に関するリリースの日本語訳をご参考までにお届けします。

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

ノバルティス社 米国に新たな研究投資 マサチューセッツ州ケンブリッジにバイオメディカル・リサーチセンター設立

ノバルティスのグローバル・リサーチ・オペレーションの新しい組織と人事

- ◆ ノバルティスは世界の研究活動を、ノバルティス バイオメディカル研究所の傘下に集約。
- ◆ ノバルティス バイオメディカル研究所は、マサチューセッツ州ケンブリッジに当初400人の研究者を擁し、今後900人規模に拡大する計画。
- ◆ トップレベルの研究者で、現在ハーバード大学医学大学院の内科学教授であり、マサチューセッツ総合病院の循環器研究所所長で、心臓学学科主任のマーク・フィッシュマン医学博士 (Mark Fishman, M.D., Professor of Medicine, Harvard Medical School, Chief of Cardiology Division, and Director of Cardiovascular Research at Massachusetts General Hospital)が、新たにノバルティス バイオメディカル研究所所長に就任。
- ◆ ノバルティスはグローバルの研究の中核組織を、優れた研究者が集まり、アカデミックな研究機関や病院ネットワークに隣接するケンブリッジに置く。
- ◆ 創薬への革新的なアプローチ、卓越した技術の統合、世界トップレベルの科学者の採用を通じて、患者さんに貢献するために医学研究を推進するという、ノバルティスの長期的コミットメントの実現を目指す。

バーゼル/ケンブリッジ発 2002年5月6日 - ノバルティス社は、本日、新しい研究戦略の重要な拠点として、マサチューセッツ州ケンブリッジに、ノバルティス バイオメディカル研究所を設立することを発表しました。これによりヨーロッパ、アメリカ、日本で行われるすべての研究活動は、現在ハーバード大学医学大学院の内科学教授であり、マサチューセッツ総合病院の循環器研究所所長で、心臓学学科主任のマーク・フィッシュマン医学博士 (Mark Fishman, M.D., Professor of Medicine, Harvard Medical School, Chief of Cardiology Division, and Director of Cardiovascular Research at Massachusetts General Hospital) という新しいリーダーのもと、ケンブリッジを中心として実施されることとなります。

マサチューセッツ州ケンブリッジに設立される新しい研究所は、255,000平方フィートの敷地に研究室およびオフィススペースを有し、400名の研究者および技術エキスパートを擁してスタートします。当初の投資額は2億5,000万ドルです。このケンブリッジの研究所

では糖尿病、循環器系疾患、感染症にファークラスし、統合されたハイスループット技術を駆使した創薬研究を行うとともに、さらに拡張し、世界で最も重要な研究キャンパスの一つとする予定です。ノバルティスの研究活動の規模と質、そしてケンブリッジでの研究投資により、私たちは世界最強の研究開発力をもつこととなり、医薬品ビジネスにおける革新的リーダーとしてのポジションをさらに強化していきます。

ノバルティス社の会長兼最高経営責任者のダニエル・バセラは、次のように述べています。「新しい研究戦略のスタートと、世界トップレベルの科学者のリーダーシップのもとで研究組織を再編することにより、科学的研究と創薬研究の質を高め、世界中の患者さんに革新的な医薬品を提供するための能力を向上させることが可能となります。世界で最も優秀な科学者とアカデミックな研究機関を擁するケンブリッジにこの研究所を設立することで、優秀な研究者をリクルートし、また、ヒトゲノムの塩基配列決定により導かれた治療ターゲットへの投資を拡張させて、研究の生産性をさらに高めることができます」

マーク・フィッシュマン博士は、ハーバード大学医学大学院の内科学教授、マサチューセッツ総合病院の循環器研究所所長および心臓学科主任の職を辞して、ノバルティス バイオメディカル研究所の所長に就任します。フィッシュマン教授は、特に心臓および血管の発生に関わる遺伝子発見に最適な、新しいモデル組織体としてゼブラ・フィッシュを導入することで、循環器系の発生生物学の研究方法に新境地を開いたことで知られています。これらの発見は、ヒトの疾病に関わる新しい遺伝子およびその発症と進行を理解する上で、重要な意味をもっています。フィッシュマン博士は、ノバルティス社の経営委員会メンバーにも就任する予定です。

エドワード・ケネディ上院議員 (Senator Edward Kennedy) は、ノバルティスが「バイオテクノロジー州」の仲間となることを歓迎し、次のように語りました。

「ノバルティスはケンブリッジ市にとっても、また、マサチューセッツ州民にとっても、新しい資産として重要な存在となるでしょう。ノバルティス社のケンブリッジ市進出で、ケンダルスクエアは世界のバイオテクノロジーの中心地としての地位をより強化することになります。さらに新しい雇用を創出し、地域を発展させるでしょう。世界最大の研究施設となるノバルティス バイオメディカル研究所設立についての本日の発表は、病気に苦しむ何百万人の患者さんやその家族に新しい治療法という希望をもたらすという、同社の強いコミットメントを意味するものです」

また、ライフ・ラフト消化管間質腫瘍 (Life Raft Gastrointestinal Stromal Tumor) の患者グループの会長であるノーマン・シェルザー (Noarman Scherzer) 氏は、次のように語りました。

「ノバルティス社が本日発表した、ケンブリッジ市にノバルティス バイオメディカル研究所を設立するというような投資活動は、ノバルティス社の革新的な新薬である「グリベック」のように、多くの患者を助ける新しい治療法の開発につながるものであり、患者に大きな希望を与えるものです」

現在のノバルティス社研究部門の責任者ポール・ヘリングは、コーポレート・リサーチの責任者に就任し、ノバルティス熱帯病研究所 (The Novartis Institute for Tropical Diseases) およびフリードリヒ ミーシャー研究所 (Friedrich Miescher Institute) の直接の責任者となり、その他いくつかの研究所の役員を務めることとなります。グリベックの創薬チームのリーダーを務めた、オンコロジー研究部門の現責任者のアレックス・マター (Alex

Matter) は、トランスレーショナル研究部門の責任者、ならびにバーゼルのノバルティス バイオメディカル研究所の責任者に抜擢されました。

ノバルティスは米国で、2年連続でどの競合他社より多くの新薬承認を取得しました。その結果、2000年および2001年に合計9つの承認を取得し、2001年は全世界で15もの承認を得ており、製薬業界で最も有力な開発パイプラインを有することで広く知られています。ノバルティス バイオメディカル研究所での長期的な投資計画、世界トップレベルの研究者の採用、マーク・フィッシュマン博士のリーダーシップ、そしてケンブリッジキャンパスの設立、さらにスイスで進行中の拡張計画などにより、革新に焦点を絞ったノバルティス社の研究開発戦略が継続されることとなります。

ノバルティスは、医薬品、コンシューマーヘルス、ジェネリック、アイケア、動物薬を事業の柱とする、ヘルスケアにおける世界的リーダーで、ニューヨーク証券取引所に上場しています。ノバルティス グループの2001年度の売り上げは320億スイフラン(約2兆2,400億円)、研究開発には約42億スイフラン(2,940億円)を投資しています。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約72,600人の社員を擁し、世界140ヵ国以上で事業を行っています。詳細は、<http://www.novartis.com> をご覧ください。